

共通仕様(対応表)

		項目	高速カラー印刷機
1		サイズ	オプションを装着した使用時の幅×奥行き×高さが2,500×1,500×1,650(mm)以下であること。
2		消費電力	本体の最大消費電力が1,000W以下、また待機時は省電力モードに切り替えられること。
3		環境配慮	本体およびインクがグリーン購入法または国際エネルギースタープログラムに適合すること。
4		印刷紙質	普通紙、再生紙、はがき、封筒、厚紙、名刺用紙が印刷可能。
5		用紙サイズ(出力)	A3～はがき
6		読取・出力(変倍)	等倍、変倍、A4→B4等の固定倍率、ズーム機能を有すること。
7		読取・出力(複数原稿)	4枚の原稿を1枚に、2枚の原稿を1枚のようなページ集約した印刷が可能であること。
8		読取・出力(複数原稿)	自動両面原稿送り装置があること。
9		読取・出力(両面)	片面→両面、両面→両面、両面→片面が可能であること。(原稿サイズ最大A3以上)
10		読取・出力(ソート)	一部ごと左右にずらして排紙、または縦横交互排紙できること(オフセット印刷)。
11		読取・出力(印字)	コピー時に、ページ番号を印字できる機能がついていること。また割込みコピー機能を有すること。
12		ネットワーク(インターフェイス)	1000BASE-T/100BASE-TX対応。なお、無線LAN経由で端末データを印刷する場合に、本体またはオプションとして必要な機能を備えること。
13		印刷枚数(A4横)	片面(モノクロ・カラー)100枚/分以上、両面(モノクロ・カラー)50枚/分以上の印刷ができること。
14		ファーストプリント	1枚目の印刷時間が5秒程度であること。
15		ステープル	ステープル機能は、用紙サイズのA3・A4・B4・B5をそれぞれ20枚以上一括処理できること。
16		ステープル	ステープルの位置はA4横左肩に1カ所斜め打、A4縦左肩に1カ所斜め打、およびA4縦左側に等間隔で2カ所平行打できること。
17		中とじ	中とじを10枚以上で一括処理できること
18		パンチ	パンチ機能は、用紙サイズのA3・A4・B4・B5を2穴または4穴開けることができること。
19		電源等	電源は複数でも構わないが、1電源が100V程度であること。 別電源が必要な場合は、延長コード等を提供し、接続すること。
20		給紙段数	給紙容量が1段あたり500枚以上のトレイを合わせて3段以上、そのうち手差しトレイを備えていること。 また排紙トレイの容量が500枚以上であること。
21		解像度	読取り、書き取りともに300dpi×300dpi以上
22		連続複写枚数	連続複写枚数が1,000枚を超えること。
23		本体操作	液晶タッチパネルであること。またカウンターにて印刷枚数が確認できること。

共通仕様(対応表)

(1) 契約期間について

令和8年2月1日から令和13年1月31日まで(5年: 契約年月日は令和8年1月1日)

(2) リユースに配慮した再生型機又は部品リユース型機について

- ・環境省が示す「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める「再生型機」または「部品リユース型機」を指し、未使用のものに限る。
- ・納入にあたっては、中古機でないことを証明するため、メーカーの出荷証明書等の書類を添付すること。

(3) 印刷機の保守点検および調整

- ・常に最良の状態で複写サービスが利用できる状態を提供すること。保守点検は、原則、月1回以上行うこと。
- ・機器が故障した場合は、岡山県の通常の勤務時間内及び応札者の営業時間内であれば連絡を受けて2時間以内に修理に取りかかり、24時間以内に部品交換が可能な体制を整えていること。
- ・通常の保守及び修理を行っても、同一箇所(原因)の故障が度重なり本来の機能を回復しない場合は、同等機能を有する機器と無償で交換すること。
- ・機器にOSが導入されている場合は、セキュリティーホール等が発見された時にパッチの適用等の対策を早急に実施すること。

(4) 複写サービス料金の内訳及び支払い方法等

- ・複写サービス料金は、別紙機器設置所屬一覧にて示す月間見込枚数について、機器本体及び仕様を満たすオプション料金、モノクロ・カラー印刷に必要なインク代、機器の運搬・設置・撤去のために必要な費用、全ての消耗品費(用紙及び追加のステープル針代を除く)、保守費用、故障時の部品または機器の交換費用等、それらの費用を含む月間料金(以下、「基本料金」とする。)を入札書に記載する。
なお、落札業者は基本料金により決定するが、月間見込枚数を超過した場合に支払うモノクロ・カラー1枚あたりの料金(以下、「超過料金」とする。)も別紙超過料金記載書に記載し、入札書に同封すること。
- ・基本料金の内容について、指定する月間見込枚数まではモノクロ・カラーどちらを印刷しても基本料金に変わらないこと。ただし、モノクロとカラーの印刷見込割合はモノクロ:57%、カラー:43%とし、入札金額の参考とすること。また月間の使用実績が指定する月間見込枚数に達しない場合、翌月以降にその差分を繰り越すことが可能であること。なお、繰越の精算は納入後1年ごとを目途とするが、精算時期については財務課担当と協議の上、決定すること。
- ・ステープル機能を有する機器について、ステープル針は当初充填して納入すること。なお、当初充填分が無くなり次第、追加分は県(各事務所)にて別途購入する。
- ・月間見込枚数は機器を納入する各所屬で印刷を予定する枚数を合計したものであり、請求は各所屬の月間見込枚数に応じて按分する。各所屬の月間見込枚数は、別紙機器設置所屬一覧を参照のこと。
- ・毎月末締めで精算払いとし、各所屬ごとに翌月20日までに請求書を作成し、請求すること。
- ・機器の保守にあたって、点検と調整のために使用した複写及びサービス提供者の責めに帰すべき原因による不良複写が生じた場合は、当該複写枚数を1箇月の複写枚数から除くものとする。
- ・県の都合により、契約期間途中で解約するときは、残存の契約期間において、入札時に示した基本料金に、残月数を乗じた金額を上限として支払うものとする。
- ・県の都合により、機器の配置場所を変更する場合は、サービス提供者に連絡するものとし、その移動のために必要な費用は、県が実費で負担する。

(5) その他

- ・機器設置場所は別紙機器設置所屬一覧に記載し、指定場所に納品すること。なお、納品スケジュールについては、財務課担当者と協議すること。
- ・搬入日は複合機を設置をする各事務所と協議のうえ決定するものとするが、その最終期限は令和8年1月30日とする。
- ・仕様書に示す機能のほか、各事務所において追加機能の要求があった場合、各事務所担当者と協議の上、適切に対応すること。
ただし、追加機能に要する費用は各所屬において費用負担を行うこと。
- ・公開系(学習者用)ネットワークを用いた無線LANを利用して、タブレット端末等からのダイレクト印刷が可能であること。また、必要なオプション、ドライバーまたはソフトウェア等を納品すること。